

會に出席中なりし日本労働代表鈴木文治氏に送附した。鈴木労働代表又これに共鳴しこれに関する緊急決議案を總會に提出せんとしたるころ英國側は極力之れに反対し萬一右決議案にして總會に上提せられんか速速退場すべしと反対し、遂に該決議案は暗から暗に葬らる事となった。

### (二) 支那海員同盟下船に對する組合の態度

上海青島に突發する紡績罷業に因を發し大正十四年六月下旬より本邦に寄港する英國船乗組支那海員は續々同盟下船して母國に於ける國民的大運動に響應した。これに對し六月二十七日附にて加拿太太平洋汽船會社代理店より日本海員を以つて下船支那海員の補充を爲すべく交渉し來りしも、組合は國際労働運動の精神及び契約解除後の失業對策の困難等より見て到底其の申込みに應ずる事能はざる故を以つて之れを拒絶した。

尙組合は英船寄港毎に下船支那船員を迎接し神戸滞在中は金品を贈つて之れを慰問し、又歸國に際しては岸畔まで送別して以つて日支海員の連絡提携を堅くする事に努めた。

### (三) 第七回國際労働總會

第七回國際労働總會に出席した日本労働代表鈴木文治氏外一行はその重大なる任務を終へ、大正十四年八月初旬歸朝されたが、其の報告する所によれば前年假採擇となつて居つた三條約案は一は否決二は可決となり、本年度提出の二條約案は本年直ちに確定採擇された。尙外に八個の決議案が可決され又は論議された事の事である。

### (四) 第八回及び第九回國際労働總會

大正十五年五月二十五日より瑞西ジュネブに開催さる、第八回國際労働總會議題は (一) 船舶内出移民監督の單純化に關す

る件 (二) 労働總會議事規則改正に關する件 (三) 労働事務局長報告討議に關する件にして、第九回國際労働總會議題は (一) 海員の労働状態監督に關する一般原則に關する件 (二) 海員の雇傭契約に關する規則の國際法典化に關する件である。

該國際労働總會に出席すべき労働代表及び顧問の選任方法につき本組合は一月二十四日開催の第五回評議員會に於いて其の入選を審議したる結果、満場一致を以つて労働代表に齋崎組合長、労働顧問に海員協會主事部竹妻次郎氏を推薦し、他の二名の顧問及び隨員の入選は幹部に一任する事となった。仍つて幹部は慎重に考慮せる結果他の二名の顧問は日本労働總同盟中央委員松岡駒吉氏、海軍労働組合聯盟川島二郎氏を、隨員には本組合常務部員赤崎寅藏氏を推薦する事に決し其の旨二月十五日兵庫縣知事宛提出した。

かくて三月二十三日愈々正式に決定せる労働代表一行(その顔觸は前記と同)は重大なる任務を果す爲め、四月一日日本組合を始め海員協會、日本労働總同盟、官業労働總同盟、海軍労働組合聯盟、農民組合、神戸労働評議會等の盛大なる見送りを受け日本郵船笠崎丸にて日度度出帆した。

尙組合は第八回及び第九回國際労働總會議題其他に對する組合の態度につき三月二十四日開催の第六回評議員會で審議したが結局その實行方法は全部労働代表一行に一任す、但し船員有料紹介の全國的廢止、及びゼノア條約案の精神に立脚する無料船員職業紹介の徹底を期する爲め日本前員接濟會の紹介は可及的迅速に撤廢すべき旨決議案として總會に提出された旨決議した。

### (五) 海上に於ける人命の安全及び救助に關する決議

右に關し組合は大正十四年五月下旬來福丸事件の決議を當時の國際労働總會に緊急的に動議せんとしたが、不幸にして其の